

■第5回リニア駅周辺整備デザイン会議における主な意見対応

| 項目 | 主なご意見(当日の課題) | 取組方針 |
|--------|--|---|
| 全体的な内容 | <ul style="list-style-type: none"> デザインノートは非常にコンパクトかつビジュアルで、市民にもわかりやすくまとめられている。 | <ul style="list-style-type: none"> 第5回リニア駅周辺整備デザイン会議における意見等を踏まえ、基本設計の概要版として、内容検討を継続的に実施しています。 今後、パブリックコメントによる市民等の意見募集を経て、最終的な取り纏めを行う予定です。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> デザインノートに書かれているアイデアをいかに実現していくかということを継続して検討していただきたい。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 具体的になってきたという印象である。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 半年かけて予算も検討するということや大屋根も含めてフレキシブルに対応ができるようになるという話を聞き、安心した。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 飯田市のまちづくりの歴史や取組の経過との整合性は図っていただきたい。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 暮らしの履歴については、地元にとってはうれしい話である。 | |
| 交通 | <ul style="list-style-type: none"> 高度なトランジットハブについて、広域的な交通とのつながりが見えると良い。北側交通広場は広域的な交通の玄関口にすることを強調していただきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> 広域的な図面、中心市街地との関係性図を盛り込むなど、修正を致しました。 将来のモニリティの変化も見据えて、交通計画等を盛り込んでいます。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 駐車場や乗換え、その予約、待合を含めて、開業時を想像することは困難と考えるため、モニリティの変化を想定し、フレキシブルに取り込むことが重要と考える。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 未来の乗合いモニリティの動線イメージや、多目的空間の活用が描かれているが、時代が変わる中で、新しいものを取り入れながら柔軟に対応していただきたい。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 交通の図について、タクシー、バスのすみ分け等、詳細でわかりやすいと思う。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 乗換新駅や二次交通へのつながりがイメージできるようにしていただきたい。 | |
| 大屋根 | <ul style="list-style-type: none"> 大屋根を市民参加や教育、地元の産業振興の一環とするなど、つくるにあたって様々な方法が考えられると思う。 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の木を活用したデザインを基本として、独創性、経済性やメンテナンス、市民参加手法等を含めて、継続的に検討を進めています。 詳細設計に向けて、よりデザインの向上を図り、具体化を進めていきます。 大屋根の整備時期についても、市民参加を考慮しながら、段階的に作り上げていく方針です。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 大屋根を全て最初につくるのではなく、10年、20年をかけて少しずつつくっていくという考え方もある。つくり方そのものもデザインの一環として考えると良いのでは。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 大屋根が開業時に全てできている必要があるのかということを検討した方が良いと考える。市の財政を考慮すると段階的な整備が現実的ではないか。 | |

| 項目 | 主なご意見(当日の課題) | 取組方針 |
|--------|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢神宮や出雲大社のように、何年かに一度のプロジェクトとして、大屋根の一部を取り替える方法も考えられる。 ・リニア駅でも木を使うということは、この地方の特色が出ており、嬉しく思っている。 ・開業の時点で 100%に近い形で完成している必要はなく、順次使いやすい形にブラッシュアップしていくことが大事と考える。 ・段階的な整備という話もあったが、最も注目が集まるのは開業時点であるため、その時点であまりに期待外れな状態とならないようにしていただきたい。 ・大屋根のネーミングもデザインの一部と思うため、良い案を出していただきたい。 | |
| 魅力発信施設 | <ul style="list-style-type: none"> ・伊那谷全体の魅力発信が魅力発信施設の基本コンセプトであると思うため、伊那谷自治体会議での議論も必要と考える。 ・箱ができるだけでは人が集まらないため、人が集うことのできる空間とすることが重要と思う。 ・発信する魅力の中身によって、施設や場所、空間は変わると思うため、統一的なストーリーやコンセプトを持った上で全体構成を検討していただきたい。 ・デザインノートにおける、ローカルな生活の魅力導入の大切さの文章が分かりづらいため見せ方の工夫が必要と考える。 ・魅力発信施設の運営の仕組みづくりが大切と思っている。 ・飯沼神社では、7年に一度、御柱を野底山から切ってくるが祭りがある。この御柱を何らかの形で駅に置いたり、野底山の木を材として使っていただくことはできないか。 ・居場所のページにおいて、「若い世代も高齢世代も」という記述があるが、「子供から高齢者まで」とした方が相応しいと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・官民連携による魅力発信施設等の実現に向けて、継続的に民間事業者との意見交換を実施しています。 ・その結果等を踏まえて、運営の仕組みづくりの具体化を検討しています。 ・今後決定する主たる民間事業者と連携し、コンセプトづくりを行う方針です。 ・今後の具体化のなかで、主たる民間事業者と地域産材の活用について検討をしていきます。 ・ご意見を踏まえ、デザインノートの見直しを実施しています。 |
| 維持管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちでメンテナンスできるということが重要であり、地元の材の活用の観点でのアイデアが出てこれば良いと思う。 ・水盤や芝生広場などの維持管理がどうなるのかが不安である。 ・市民参加について、ふるさとへの思いにつながるほか、維持管理につながるため、楽しみに思っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・維持管理についても、地域や民間事業者と連携し取り組んでいく方針です。 ・今後の具体化のなかで、多くの方の御参画を期待しています。 |

| 項目 | 主なご意見(当日の課題) | 取組方針 |
|----------|---|---|
| 周辺との連携 | <ul style="list-style-type: none"> •これまでの駅周辺整備という言葉が、デザインノートでは駅前空間に変わり、絵的にも駅の周りとのつながりが見えづらくなっているため工夫が必要と考える。 | <ul style="list-style-type: none"> •広域的な図面、中心市街地との関係性図を盛り込むなど、修正を致しました。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> •上・下伊那や長野県、隣県にとってプラスになる施策や連携の方法を検討することが重要と考える。 | <ul style="list-style-type: none"> •整備区域の周辺施設の連携については、今後、関係機関等との協議を進めるなかで具体化を図ります。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> •リニア駅と中心市街地のつながりや伊那谷全域、長野県全域への広がりについても検討していただきたい。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> •つながりは重要であり、来訪者を広域にいざなうという仕組みができると良い。また、エス・バードや中心市街地も含めた一体的な施策も重要と考える。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> •恒川官衙遺跡などの駅の外を含めて、駅を拠点とした回遊性を検討していただきたい。 | |
| 意見収集の方法等 | <ul style="list-style-type: none"> •部会やワークショップに参加した市民などが今後も継続的にプロジェクトに関わることができる場を残していかなければならない。 | <ul style="list-style-type: none"> •基本設計の完了以降、新たな検討体制等が必要と考えています。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> •男性のみの会議となっているが、女性の意見を取り入れることも重要と考える。 | <ul style="list-style-type: none"> •当該検討体制の組織化に向けて、本意見等を参考に具体化を検討していきます。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> •地元の方のみでなく、東京や名古屋などからの来てもらう側の意見も取り入れていくと良いと考える。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> •地元の方々の意見を吸い上げていただきたい。また、説明をしていただきたい。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> •伊那谷全体や長野県全体の意見を聞く機会を設けていただきたい。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> •将来、子供や孫たちに、良いところになったと言われ、住宅や土地を提供した人々が納得するようにしていただきたい。 | |